

平成 29 年度（2017 年度）事業報告
（平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日）

平成 29 年度事業は、当初の事業計画ならびに予算案に基づいて次のように行われた。

法人事業の報告

1. 会員数の報告

平成 29 年 8 月 31 日現在の会員数は次のとおりである。

会員数：（ ）は平成 28 年 8 月 31 日現在の数

会員種別	医・歯	理	農・工	薬	他	計
名誉会員－国内	34 (34)	12 (12)	6 (7)	12 (13)	1 (1)	65 (67)
名誉会員－国外	-	-	-	-	65 (80)	65 (80)
永年会員	5 (5)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (8)
評議員	319 (322)	176 (181)	130 (129)	132 (138)	6 (6)	763 (776)
正会員	1,848 (1,766)	1,708 (1,565)	1,118 (961)	1,231 (1,156)	247 (239)	6,152 (5,687)
学生会員	135 (226)	254 (389)	273 (385)	167 (250)	0 (2)	829 (1,252)
小計	2,341 (2,353)	2,153 (2,150)	1,527 (1,482)	1,542 (1,557)	319 (328)	7,882 (7,870)
異動数	-12	3	45	-15	-9	(前年比 12)
賛助会員					78口 (80)	54社 (56)
団体会員						149団体 (158)
総計						8,085 (8,084) (前年比 1)

H29.8.31 支部別会員数（ ）は H28.8.31 の数

支部名	会員数(名)	%
北海道	216 (214)	2.7%
東北	543 (570)	6.7%
関東	2,895 (2,957)	35.8%
北陸	213 (212)	2.6%
中部	708 (686)	8.8%
近畿	1,733 (1,696)	21.4%
中国・四国	753 (714)	9.3%
九州	691 (702)	8.5%
国外他	333 (333)	4.1%
計	8,085 (8,084)	100.0%

北海道支部	1回
東北支部	1回
関東支部	1回
中部支部	1回
北陸支部	1回
近畿支部	1回
中国・四国支部	1回
九州支部	1回

2. 会議開催の報告

学会運営のために行われた主な会議の開催状況は以下のとおりである。

理事会	11月, 4月, 8月	3回
常務理事会	4月	1回
第54回総会	日時：平成 28 年 11 月 25 日 会場：TKP ガーデンシティ御茶ノ水	

3. 各支部会議開催の報告

4. 委員会活動等の報告

・情報専門委員会

ホームページでは、「早石修記念海外留学助成」のバナーを設置し会員のみならず広く呼びかけを行い、会員ページに JB オンライン版を設置するなど会員への利便性もはかった。

・研究倫理委員会

日本医学会連合研究倫理委員会との連携を図り、意見書等を提出した。

- ・日本学術会議, 日本学術振興会, 日本医師会, 日本医学連合調査, 各機関からの周知など連携および協力をした。

公益目的事業の報告

5. 出版 <公1>

(1) 生化学誌出版

会誌発行状況は以下のとおりである。

※偶数月の隔月発行(6回/年)

	総頁	論文数	総説	MR	TN	その他
第88巻 H28.1~6	806	111	49	59	3	36
第89巻 H29.1~4	598	83	32	46	5	29

支部企画による特集号は好評を博している。
編集企画協力委員には非会員の参画も要請し、幅広い企画の立案に努めている。
電子版の読みやすさは好評で、新刊では毎号フリーアクセスの記事を網羅し、6か月経過後はすべての記事をだれでも読めるようにしている。

(2) The Journal of Biochemistry (JB) 出版

欧文誌の発行状況は以下のとおりである。

	Pages	No. Paper	Reg. P	Comm- mun.	Rev/ Minirev.	Ref. & Others
Vol. 159, 160 2016	1,045	106	86	1	18	1
Vol. 161, 162 (Jan.-Aug.) 2017	679	74	47	6	20	1

*2017年の Impact Factor は 2.082 であった。

海外を含む一般にも広く投稿を呼びかけ、優秀な論文に与えられる「JB論文賞」を設け、大会開催時にはその授賞式およびランチョンセミナーを開催し JB へ投稿、周知をはかった。

(3) 各月の発行状況は以下のとおり。

	生化学	JB
個人会員	475	90
団体会員	149	78
賛助会員	54	54
商社・書店	139	170
交換・寄贈・保管等	183	208
計	1,000	600

6. 学術集会 <公2>

(1) 第89回生化学会大会開催の報告

日時：平成28年9月25日～27日

場所：仙台国際センター, 東北大学川内北キャンパス

会頭：山本 雅之

特別講演 2 題, Meet the Expert 6 題

シンポジウム 56 セッション, 一般演題 1, 211 題

(口頭 44 セッション 305 題, ポスター 1, 115 題)

Late-breaking Abstracts 96 題,

フォーラム 12 セッション

バイオインダストリーセミナー 11 セッション

参加登録者：2,403 名 (内 学生 741 名)

*他に招待者 202 名 総合計 2,605 名

(2) 男女共同参画推進委員会活動報告

委員会の一つである男女共同参画推進委員会主催で第89回大会時にランチョンワークショップ「研究者のライフイベントを乗り越えるには」を開催した。

また、男女共同参画学協会連絡会の第14期幹事学会として、平成28年10月にシンポジウム「国際的にみて日本の研究者における女性割合はなぜ伸びないのか？」を開催した。

(3) 各支部の例会・シンポジウム開催の報告

各支部における学術活動は活発であり、全ての支部でシンポジウムを開催した。

北海道支部「第54回支部例会」 (7月)

東北支部「生体膜脂質研究の最前線」 (5月)

関東支部「生化学と生物学を考える」 (6月)

北陸支部「ウイルス感染病態研究の新潮流」 (6月)

中部支部「タンパク質の細胞内ダイナミズム」 (5月)

- 近畿支部「たんぱく質を究める」 (5月)
 中国四国支部「糖鎖認識の生化学」 (5月)
 九州支部「細胞のストレス応答とその生体反応」
 (5月)

(4) 国際会議等の共催・協力の報告

- ・第 15 回バイオフィロンティアシンポジウムとして「第 8 回オートファジーに関する国際会議」を主催した。
 日時：平成 29 年 5 月 29 日～6 月 1 日
 会場：奈良春日野国際フォーラム
- ・FAOBMB Conference に代表を派遣した。
 平成 28 年 12 月に Manila で開催
- ・IUBMB の活動を支援した。

7. 表彰・助成 <公 3>

(1) 表彰・奨励

平成 29 年度奨励賞, JB 論文賞, 柿内三郎記念奨励研究賞および柿内三郎記念賞の募集をおこない, 各種受賞等選考委員会による選考を行った。受賞者は以下のとおりである。

- ・日本生化学会奨励賞
 新崎 恒平, 板倉 英祐, 加藤 洋平
 木塚 康彦, 齋藤 康太
- ・JB 論文賞 (第 26 回)
 伊東 進 他 2 名, 中山 和久 他 5 名, 高木 博史 他 4 名, 安川武宏 他 2 名, 廣瀬 豊 他 3 名, Eiko Nakamaru-Ogiso 他 3 名, 五十嵐和彦 他 7 名, 伊藤 智和 他 6 名, 茂里 康 他 8 名
- ・柿内三郎記念奨励研究賞 (第 14 回)
 宮田 暖, 山口 知也
- ・柿内三郎記念賞 (第 12 回)
 山本 雅之

(2) 助成

「早石修記念海外留学助成」を新規事業として立ち上げた。資金は小野薬品工業株式会社からの寄付により賄われ 8 名まで各 500 万円の支給を 10 年間継続して行う。今年は初年度のため第 1 回目と第 2 回目を同会計年度内に採択した。採択者は以下であ

る。

第 1 回 2017 年度採択者

鈴木 洋, 服部 一輝, 雁金 大樹, 吉井 紗織
 古舘 昌平, 石井由美子, 神吉 康晴, 仁平 直江

第 2 回 2018 年度採択者

酒井真志人, 西村 多喜, 中川 直樹, 三澤 拓馬
 大場 陽介, 千葉 杏子, 田中 良法, 藍川 志津

以上